

<パラフィン組織 固定方法>

当方でパラフィンブロックを作製する場合は、下記の要領で固定したサンプルをお持ち下さい。  
他の固定をされた場合、パラフィン置換の段階で組織の変性が起こる可能性があります。

固定条件：10%ホルマリン\*1（ホルマリン原液 10 倍希釈）または 10%中性緩衝ホルマリン、  
室温、1～2 日間

- ※解剖後、速やかに固定液に入れて下さい
- ※解剖した当日は、1 回固定液を交換して下さい
- ※固定液が混濁した場合は、新鮮なものと交換して下さい
- ※1 日 1 回はやさしく転倒混和して下さい

マウス胎児	割の有無	固定液量
E10.5 以下	そのまま固定して下さい	1ml
E11.5～13.5	頭部または腹部に穴を開けて下さい	5ml
E14.5～18.5	不要な部分に割を入れ固定液の浸透を良くして下さい	10ml

上記以外のサンプル(Adult 等)は厚さを **5mm 以下**にして **10～20 倍量**の固定液を使用して下さい  
臓器をまるごと固定される時は、**割**を入れて固定した後に厚さを調整(**5mm 以下**)して下さい  
固定容器はエッペン tube を避け、口の大きい瓶(または tube)を使用して下さい  
固定終了後受付まで時間が空いてしまう時は、サンプルを軽く水洗 (milli-Q) いして **70%EtOH** に移し、  
4℃にて保管して下さい (なるべく早くパラフィンブロック作製に進まれることをお勧めします)

\* 1 : 【10%ホルマリンの作製】

1. 50ml tube にホルマリン(wako 064-00406 Formaldehyde solution)を 5ml 入れる。
2. autoclaved PBS\*2で 50ml にメスアップしてよく混ぜる。

\* 2 : 【PBS の作製】

1. Dulbecco's PBS(-) (nissui 05913) 9.6g を milli-Q 水で 1000ml にメスアップする。
2. その後、autoclave して室温保存。